

九州

九州支社
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119
kyushu
@kensetsunews.com

熊本交
熊と協
見と意
協が
コが
建市

実務者会議で課題解決を

業務表彰制度の導入検討



建設コンサルタント協会九州支部（種山泰治支部長）は29日、熊本市の熊本城ホールで熊本市との意見交換会を開いた。写真。熊本市は、業務表彰制度の導入や広域コンサルタントと地域コンサルタ

トのJ・V制度の導入といった協会のさまざまな要望に前向きに回答するとともに、より円滑な協議に向けて両団体の実務者で構成する協議体の設置を提案した。

意見交換には、協会から種山支部長や栄徳洋平副支部長ら幹部、市から総務局の鮫島裕和契約監理部長、都市建設局の宮崎昂兆土木部長らが出席した。

議事では、協会が市への個別要望として業務表彰制度の導入を要望した。市は、2024年度に本格導入した業務成績評定制を分析していることから「河川や道路など工種ごとの点数のばらつきを検証し、できる限り早期の導入

動向を踏まえて検討する」とした。

福岡県や大分県、宮崎県などで試行業務の実施やロードマップの策定などが進むBIM／CIMの導入を要望した協会に対し、市は24年度から職員向けの研修会の実施や環境整備、活用業務の検証を進めているとした。

履行期限の平準化では、市の第4四半期納期率の高さを協会が指摘した。熊本市は「庁議の議題に挙がっている」と問題認識を示し、「債務負担行為の活用や柔軟な工期の設定といった平準化の『さしすせそ』の実行を確認した」と述べた。

市が提案した実務者レベルの協議体の設置では、市が「トップ同士で意見を交わすよりも実務者間で協議した方が課題解決につながるのではないか」と提案。協会は「持

ち帰って検討する」と前向きに応じた。

意見交換後、種山支部長は「多くの議題に前向きな回答をいただき、非常にありがたい」と、鮫島部長は「今回提案した実務者による会議などを通して、お互いがより良い未来になるようにしたい」とそれぞれ感想を語った。